



# 「弁証法」

2サイクルのユニフロー掃気ディーゼルエンジンの頭文字UDの符牒で知られた日産ディーゼル工業は最早、存在しません。スウェーデンはヨーテボリが本拠地のA

ユトウツトガルトが本拠地のダイムラーが90%近い株式を保有する連結子会社。因みに「扶桑」は『山海経』「淮南子」『梁書』等に登場する東方の果ての巨木。中国に於ける日本の異称です。

弁証法とは真逆な「日本凄いゾ論」信奉者が欣喜雀躍する元号「令和」の由来らしき『万葉集』の「梅花歌三十二首」も実は、中国の『文選』に含まれる張衡の『帰田賦』に倣い、王羲之の『蘭亭序』を踏まえた代物と「戦争させない・9条壊すなー総がかり行動実行委員会」賛同者で文化勲章受章者の中西進氏は看破。『万葉集』の東歌が専門の品田悦一東京大学教授も、「典拠の文脈を精読すると（権力者の横暴を許せないし、忘れる事も出来ない）という政府関係者には思いも寄らなかったメッセージ」と喝破。

Bボルボの完全子会社UDトラックスとして上尾市に本社工場を構えます。横須賀線と湘南新宿ラインの新川崎駅前が本社の三菱ふそうトラック・バスも、ドイツのシ

日本の国花は桜、皇室の紋は菊。他方で中国は梅と牡丹が双国花。台湾の中華航空の意匠も梅。「粘土細工の粘土を出しただけ」と煙に巻く中西翁の心中を大胆に付度すれば、後に広島・長崎へ原子力爆弾を投下する国に今から107年前、首都ワシントンのポトマッ

ク川沿いに2千本もの桜の苗木を寄贈した島国が、チキンゲームの貿易戦争に突入中の米中二大経済大国の仲を取り持つ決意表明を隠喩した、若しや深謀遠慮の元号!?

米中貿易戦争を奇貨として、来年1月の台湾総統選挙に立候補を表明したのが鴻海精密工業創設者郭台銘董事長の端倪すべからざる「レヴアレッジ」戦略。iPhone製造拠点を中国本土に設ける「チャイワン」の雄の傘下には日本のシャープも。「米国第一主義」を掲げるドナルド・トランプ大統領の要請を受け、ウイスコンシン州での液晶パネル工場の建設続行を春節初日の全社忘年会で発表した彼は、他方で習近平総書記とも親密。ヘンリー・キッシンジャー氏が顧問委員会を牛耳る清華大学の顧問委員も務めます。

1979年の元旦に米国と国交を樹立し、「改革開放」を掲げて国家資本主義の市場経済を導入した鄧小平。その彼は中台統一を求める「台湾同胞に告ぐ書」も同時に発布しています。爾来40年。更には中国建国70周年の今年。パオオ、ハイチ等17ヶ国に「国交」が留まる隘路から一気呵成に跳躍す

べく台湾は「対中融和路線」の郭氏を戴き、香港の轍を踏まぬ形での「一国二制度」を具現化しようと歩み出す蓋然性が高いのです。東シナ海と南シナ海を結ぶ台湾海峡は、中近東から原油&LPGを輸入する日本に不可欠なシーレーン。これぞ米中日「GDP三大国」を手玉に取る梃の原理。翻って日出ずる国ニッポン。国民1

人当たりGDPは世界31位。「桓武天皇の生母が百済の武寧王の子孫であると続日本紀に記されている事に韓国との縁を感じています」とW杯日韓共催前年の2001年12月、明仁天皇が述べた往時と異なり世界32位は韓国。「株価が全て」と高言する日本。世界時価総額ランキング50位以内には45位トヨタ自動車のみ。計7社ランキングの中国と18位サムスン電子の後塵を押しします。経産省改め「傾惨省」の差配で、ルノー傘下の日産自動車COOから産業革新機構会長に転じた志賀俊行氏が数千億円の血税を投じた「ジャパンドイスプレイ」。「日の丸液晶連合」の御旗を先月降ろし、台中勢3社連合の軍門に下った惨状も最後に記しておきましょう。

★次号の10月号の発行口は10月15日(水)です。